

支援プログラム

あるいはクラブでは、保護者との綿密な連携を図り、個々の状況に応じた個別支援、集団支援により五領域（「健康・生活」・「運動・感覚」・「認知・行動」・「人間関係・社会性」・「言語・コミュニケーション」）について、適切かつ効果的な療育を行います。

健康・生活

ねらい	内容
<ul style="list-style-type: none"> 健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。健康状態のチェックと必要な対応を行う。 意思表示が困難である子どもの発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行う。 病気の予防や安全への配慮を行う。 身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 検温による健康チェック：健康 ② 手洗い・うがいによる病気予防：健康 ③ 自分の物のロッカーへの片づけ：生活 ④ 使用するもの準備・片づけ：生活 ⑤ 衣服の着脱整理整頓：生活 ⑥ 挨拶の習慣：生活

運動・感覚

ねらい	内容
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図る。 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。 	<ol style="list-style-type: none"> ① ボール遊び（身体を動かし力の加減・反射神経・空間認知力・コミュニケーション）：運動 ② 縄跳び（心肺機能の向上・体力づくり）：運動・感覚 ③ 細かいビーズ・折り紙：運動（手先）・感覚 ④ その他、新聞紙を使用したバランス遊び・鬼ごっこ・手押し相撲・ボッチャ・ダンスケンケンパ・フラフープ（動作・心肺機能の向上・体力づくり・コミュニケーション）：運動・感覚

認知・行動

ねらい	内容
<ul style="list-style-type: none"> 物の形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 時計を使って時間への意識と理解を深める：認知・行動 ② コグトレ（点つなぎ・間違い探し）カルタ遊び：認知

<ul style="list-style-type: none"> ・数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行う。 ・認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、個々の特性に配慮する。 	
--	--

人間関係・社会性

ねらい	内容
<ul style="list-style-type: none"> ・人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 ・一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担やルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 ・行動の特徴を理解すると共に、気持ちや情動の調整ができるように支援する。 ・集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 挨拶をする：人間関係 ② 子ども同士で話し合う場を設ける (小集団活動から集団活動へ徐々に移行)：人間関係・コミュニケーション ③ 外部イベントへの参加：人間関係・社会性

言語・コミュニケーション

ねらい	内容
<ul style="list-style-type: none"> ・相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたり出来る様に支援を行う。 ・発達障害の子どもなど、障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。 ・文字・記号、絵カードのコミュニケーション手段を活用し、理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 口の動きを真似て発声・発語につなげる：言語 ② 伝達手段として絵カードや筆談を用いる：コミュニケーション ③ 写真・絵カードで、物や動作に正しい言葉を当てはめる練習：言語・コミュニケーション ④ 読み聞かせをして、その内容の質問して答えて貰うことで理解力の向上につなげる：言語・コミュニケーション ⑤ 双方の伝達出来る様に仲介をしていく：言語・コミュニケーション